

# 環境活動レポート



## 第30期

(対象期間：2017年 9月～2018年 8月)

作成：2018年9月27日

株式会社プラスサービス

承 社	認 長	作 成 管理責任者
 9・27		 9・27

# 目 次

## 1. 組織の概要

- (1) 事業所名
- (2) 代表者
- (3) 所在地
- (4) 環境管理責任者名と担当者連絡先
- (5) 設立
- (6) 資本金
- (7) 売上高
- (8) 組織図
- (9) 事業活動の内容
- (10) 事業規模

## 2. 対象範囲

## 3. 環境方針

## 4. 環境目標

## 5. 環境活動計画

## 6. 環境目標の実績

## 7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

## 8. 環境関連法規の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- (1) 事業許可一覧
- (2) 収集運搬車両の種類
- (3) 処理工程

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

## 1. 組織の概要

組織の概要は、次のとおりです。

項目	内容
事業所名	株式会社プラスサービス
代表者	加納 義信
所在地	本社：鳥取県鳥取市賀露町北四丁目17番13号 工場：鳥取県鳥取市気高町下坂本濱崎933-2
環境管理責任者名と 担当者連絡先	環境管理責任者：森本 悟行 担当者：森本 悟行 担当者連絡先：TEL0857-82-3956 FAX0857-82-3957
設立	1989年（平成元年）7月
資本金	1,000万円
売上高	5,000万円（2017年9月～2018年8月）
組織図	<pre> graph TD     A["最高責任者 (代表取締役 加納義信)"] --&gt; B["管理責任者 (工場長 森本悟行)"]     B --&gt; C["本社部門 (部門長 取締役 加納義也)"]     B --&gt; D["工場部門 (部門長 工場長 森本悟行)"]         </pre>
事業活動の内容	①産業廃棄物の収集 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運搬及び中間処分業（破碎溶融、破碎）</li> <li>・発泡スチロールリサイクル</li> <li>・廃プラスチック（ペットボトル）リサイクル</li> <li>・空缶（鉄缶、アルミ缶）リサイクル</li> </ul> ②特別管理産業廃棄物収集・運搬業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染性産業廃棄物、廃酸の収集運搬</li> </ul>
事業規模	① 売上高：5,000万円（2017年9月～2018年8月） ② 収集運搬量 <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物：469.0t（2017年9月～2018年8月）</li> <li>・特別管理産業廃棄物：265.56t（2017年9月～2018年8月）</li> </ul> ③ 中間処分量 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間処理量：362.0t（2017年9月～2018年8月）</li> <li>・リサイクル原料化量：114.7t（2017年9月～2018年8月）</li> </ul> ④ 従業員数：6名 ⑤ 敷地面積：本社 27.0㎡ 工場 853.0㎡ ⑥ 延床面積：本社 44.2㎡ 工場 450.6㎡

## 2. 対象範囲

対象範囲は、当社の全組織・全活動です。

項目	対象範囲
事業所名	株式会社プラスサービス
対象範囲所在地	本社：鳥取県鳥取市賀露町北四丁目17番13号 工場：鳥取県鳥取市気高町下坂本濱崎933-2

### 3. 環境方針

## 経営理念

1. 地球の環境を守り、人間の健康づくり、幸福づくりに貢献する。
2. サービス+サービス精神で、社会に貢献する。
3. 何事も、プラス志向（前向き・積極的）で対処する。

## 環境方針

### 【基本方針】

当社は、環境保全への取組みを企業経営の重要課題の一つと位置付け、産業廃棄物収集・運搬及び中間処分業、特別管理産業廃棄物収集・運搬業を通じて、環境に優しい「循環型社会への貢献」を目指します。

### 【行動指針】

- (1) 当社は、環境に与える影響を的確にとらえ、環境への汚染の予防及び環境保護を約束します
- (2) 当社は、環境に関する法的及びその他の要求事項を順守します。
- (3) 当社は、当社の事業活動を通じて環境改善目標を設定し、継続的な改善活動を実施します。  
その中の重要項目を次のように定め、地球環境保全に取り組めます。
  - ① 産業廃棄物収集運搬量の拡大
  - ② 産業廃棄物中間処理（リサイクル）の推進
  - ③ CO<sub>2</sub>排出量の削減
  - ④ エネルギーの有効活用
  - ⑤ 産業廃棄物の削減
  - ⑥ 水使用量の削減
  - ⑦ グリーン購入の推進
  - ⑧ 地域貢献活動の推進
- (4) 当社は、設定した環境改善目標の達成度合いや変化する周囲の状況及び情報等を考慮し、定期的に見直しを実施します。
- (5) 当社の環境方針は、当社従業員へ周知すると共に、お申出があればすべての人に公開致します。

制定日 2016年 4月11日

株式会社プラスサービス

代表取締役社長 加納 義信

文書名：環境方針書  
版数：初版-01

#### 4. 環境目標

環境への負荷の自己チェックの結果を踏まえ、2017年度の実績より、2020年度までの「環境目標」を次のとおり定めました。

【年度：9月～翌年8月】

環境目標		2017年度 実績	2018年度	2019年度	2020年度
エネルギーの CO <sub>2</sub> 排出量の 有効利用で 削減	・CO <sub>2</sub> 排出量の削減	66.0t-CO <sub>2</sub>	64.7t-CO <sub>2</sub> 以下	63.5t-CO <sub>2</sub> 以下	62.5t-CO <sub>2</sub> 以下
	・電気使用量の削減	28,488kWh	28,400kWh以下	28,200kWh以下	28,000kWh以下
	・ガソリン使用量の削減 (2014年3月より使用開始)	240ℓ	235ℓ以下	230ℓ以下	225ℓ以下
	・軽油使用量の削減	17,632ℓ	17,200ℓ以下	17,000ℓ以下	16,700ℓ以下
	・LPG使用量の削減	5.3m <sup>3</sup>	5.2m <sup>3</sup> 以下	5.1m <sup>3</sup> 以下	5.0m <sup>3</sup> 以下
特別管理産業廃棄物 収集運搬量の拡大		16,946箱 265.6t	17,000箱以上 266.5t以上	17,050箱以上 267.2t以上	17,100箱以上 268.0t以上
(リサイクル)の 産業廃棄物中間 処理の推進	・空缶処理量 鉄缶	25.3t	25.5t以上	26.0t以上	26.5t以上
	・空缶処理量 アルミ缶	29.0t	29.5t以上	30.0t以上	30.5t以上
	・発泡減容量	8.1t	8.5t以上	9.0t以上	9.5t以上
	・廃プラ破碎量	48.8t	49.0t以上	49.5t以上	50.0t以上
産業廃棄物排出量の削減		54.8t	54.0t以下	53.5t以下	53.0t以下
水使用量の削減		93m <sup>3</sup>	92m <sup>3</sup> 以下	91m <sup>3</sup> 以下	90m <sup>3</sup> 以下
グリーン購入の推進		1件	2件以上	3件以上	4件以上
地域貢献活動の実施		4回	4回以上	5回以上	6回以上

[注-1] CO<sub>2</sub>換算

電力(中国電力): 0.672kg-CO<sub>2</sub>/kWh、ガソリン: 2.619kg-CO<sub>2</sub>/ℓ

軽油: 2.619kg-CO<sub>2</sub>/ℓ      LPG: 3.0kg-CO<sub>2</sub>/kg

## 5. 環境活動計画

環境目標		環境活動計画
エネルギーの有効利用 でCO2排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量の削減</li> <li>・電気使用量の削減</li> <li>・ガソリン使用量の削減 (2014年3月より使用開始)</li> <li>・軽油使用量の削減</li> <li>・LPG使用量の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調温度の適性化(冷房28℃・暖房20℃)</li> <li>・エアコン点検(3カ月ごと)とフィルターの掃除</li> <li>・不要照明箇所の消灯</li> <li>・OA機器の省電力モード設定実施</li> <li>・準備作業の実施で設備稼働時間の短縮</li> <li>・アイドリングストップを含めエコドライブの実施</li> <li>・収集運搬ルート of 事前調整で走行距離の短縮</li> <li>・タイヤ空気圧を適性値に保つ</li> <li>・使用湯温を下げ短時間使用の実施</li> </ul>
特別管理産業廃棄物 収集運搬量の拡大		<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率の良い積み込みで顧客先での作業時間短縮(10分以内)</li> <li>・顧客への定期的な収集運搬箱提供</li> <li>・収集運搬先の事前順番調整実施</li> <li>・既存顧客に対する巡回営業と新規顧客の開拓</li> </ul>
(リサイクル)の 産業廃棄物中間 処理の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空缶処理量 鉄缶</li> <li>・空缶処理量 アルミ缶</li> <li>・発泡減容量</li> <li>・廃プラ破砕量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底でリサイクル原料化する。</li> <li>・新聞広告により収集運搬量を増やす。</li> <li>・既存顧客に対する巡回営業と新規顧客の開拓</li> </ul>
産業廃棄物排出量の削減 (ビン類分別により増加予測)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底でリサイクル原料化を図り、廃棄物を削減する。</li> <li>・設備のメンテナンス実施で稼働を維持する。</li> </ul>
水使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水の励行</li> <li>・洗車時、バケツを活用</li> </ul>
グリーン購入の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入物品発生時、グリーン購入法指定品目の採用</li> </ul>
地域貢献活動の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な地域清掃の実施</li> <li>・汚した場合の清掃実施</li> </ul>

## 6. 環境目標の実績

2017年9月から翌年8月までの環境目標達成状況は、次のとおりです。

環境改善目標		2017年度 (2017.9~8までの目標値)	実績	達成度 評価
エネルギーの有効利用 でCO2排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量の削減</li> <li>・電気使用量の削減</li> <li>・ガソリン使用量の削減</li> <li>・軽油使用量の削減</li> <li>・LPG使用量の削減</li> </ul>	57.8 t-CO2 以下 24,500kWh 以下 270 ℓ 以下 15,500 ℓ 以下 4.9 m <sup>3</sup> 以下	66.0 t-CO2 28,488 kWh 240 ℓ 17,632 ℓ 4.9 m <sup>3</sup>	× × ○ × △
特別管理産業廃棄物 収集運搬量の拡大		16,000 箱以上	16,946 箱	○
産業廃棄物 中間処理 (リサイクル)の 推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空缶処理量 鉄缶</li> <li>・空缶処理量 アルミ缶</li> <li>・発泡減容量</li> <li>・廃プラ破砕量</li> </ul>	25.0 t 以上 29.0 t 以上 10.0 t 以上 47.0 t 以上	25.3 t 29.0 t 8.1 t 48.8 t	○ ○ × ○
産業廃棄物排出量の削減		42.5 t 以下	54.8 t	×
水使用量の削減		102 m <sup>3</sup> 以下	93 m <sup>3</sup>	○
グリーン購入の推進		1 件以上	1 件	○
地域貢献活動の実施		4 回以上	4 回	○

[注-1] CO2換算 電力(中国電力): 0.672kg-CO2/kWh、ガソリン: 2.619kg-CO2/ℓ  
 軽油: 2.619kg-CO2/ℓ LPG: 3.0kg-CO2/kg

[注-2] 達成度評価記号 ○: 良好(100%以上) △: やや不足(90~100%) ×: 不適合(90%未満)

## 7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

2017年9月から翌年8月までの環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容は、次のとおりです。

環境目標		環境活動計画	取組結果	評価・次年度の取組内容
エネルギーの有効利用でCO <sub>2</sub> 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>排出量の削減</li> <li>電気使用量の削減</li> <li>ガソリン使用量の削減(2014年3月より使用開始)</li> <li>軽油使用量の削減</li> <li>LPG使用量の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調温度の適性化(冷房28℃暖房20℃)</li> <li>エアコン点検(3カ月ごと)とフィルターの掃除</li> <li>不要照明箇所の消灯</li> <li>OA機器の省電力モード設定実施</li> <li>準備作業の実施で設備稼働時間の短縮</li> <li>アイドリングストップを含めエコドライブの実施</li> <li>収集運搬ルートの事前調整で走行距離の短縮</li> <li>タイヤ空気圧を適性値に保つ</li> <li>使用湯温を下げ短時間使用の実施</li> </ul>	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>排出量は、目標未達であった。この原因は、商圈エリアが兵庫県北部まで広がったことによる軽油使用量が増加したことと、新設設備の増設稼働による電力使用量の増加による。</li> <li>総合的に目標達成状況が未達であることから、次年度も継続して取組む。</li> </ul>
特別管理産業廃棄物収集運搬量の拡大		<ul style="list-style-type: none"> <li>効率の良い積み込みで顧客先での作業時間短縮(10分以内)</li> <li>顧客への定期的な収集運搬箱提供</li> <li>収集運搬先の事前順番調整実施</li> <li>既存顧客に対する巡回営業と新規顧客の開拓</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標を達成することが出来たこれは、新規顧客獲得する事が出来たのが功を奏している。</li> <li>次年度も継続して取組む。</li> </ul>
(リサイクル)の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>空缶処理量 鉄缶</li> <li>空缶処理量 アルミ缶</li> <li>発泡減容量</li> <li>廃プラ破砕量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別の徹底でリサイクル原料化する。</li> <li>新聞広告により収集運搬量を増やす。</li> <li>既存顧客に対する巡回営業と新規顧客の開拓</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>空缶の鉄缶・アルミ缶・廃プラの破砕の目標は達成出来た。発泡は未達である。この原因は顧客の減少によるものである。</li> <li>次年度は、今年度の実績を基に目標値を見直し、取組む。</li> </ul>
産業廃棄物排出量の削減(ビン類分別により増加予測)		<ul style="list-style-type: none"> <li>分別の徹底でリサイクル原料化を図り、廃棄物を削減する。</li> <li>設備のメンテナンス実施で稼働を維持する。</li> </ul>	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガラスくず(ビン類)の増加とリサイクル出来るものが増加し、目標未達と成った。</li> <li>次年度は、今年度の実績を基に目標値を見直し、取組む。</li> </ul>
水使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>節水の励行</li> <li>洗車時、バケツを活用</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画どおり目標達成。</li> <li>次年度も継続して取組む。</li> </ul>
グリーン購入の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>購入物品発生時、グリーン購入法指定品目の採用</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画どおり目標達成。</li> <li>次年度も継続して取組む。</li> </ul>
地域貢献活動の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な地域清掃の実施</li> <li>汚した場合の清掃実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画どおり目標達成。</li> <li>次年度も継続して取組む。</li> </ul>

## 8. 環境関連法規の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」です。

その他関連する法規等について、2018年6月に環境関連法規等の取りまとめた「法規制等の一覧及び順守評価記録」に基づき、順守評価を実施いたしました結果、逸脱は、ありませんでした。

また、関係機関及び本社並びに工場近隣からの違反の指摘や訴訟等もありません。

### (1) 事業許可一覧（\*積替え保管：無し）

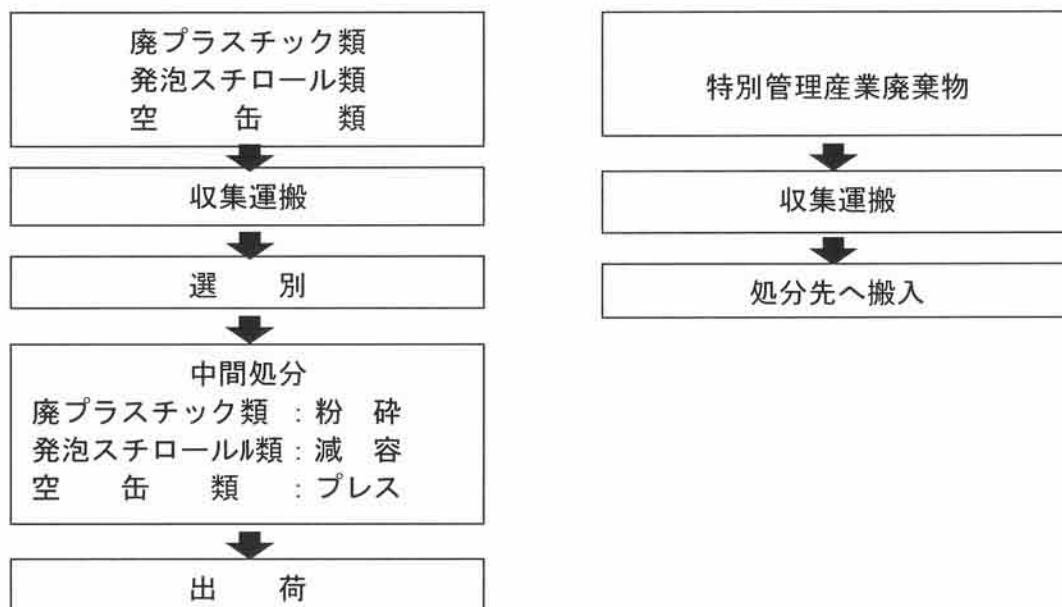
許可番号	事業の範囲	許可の年月日	有効期限
産業廃棄物収集 運搬業許可番号 鳥取県 03101002312 (優良)	汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ 廃プラスチック類・紙く ず・木くず・繊維くず・ 動植物性残さ・金属くず ガラスくず等・がれき類の 収集運搬	平成 28 年 4 月 20 日	平成 35 年 4 月 19 日
産業廃棄物収集 運搬業許可番号 島根県 3200002312	廃プラスチック類・紙く ず・木くず・繊維くず ゴムくず・金属くず・ガラ スクズ等の収集運搬	平成 27 年 4 月 28 日	平成 32 年 4 月 27 日
産業廃棄物収集 運搬業許可番号 岡山県 03300002312	廃プラスチック類・金属く ず・ガラスくず・コンクリ ートくず・廃酸・紙くずの 収集運搬	平成 28 年 11 月 28 日	平成 33 年 11 月 27 日
産業廃棄物収集 運搬業許可番号 兵庫県 02804002312 (優良)	廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プ ラстик類・紙くず 金属くず・ガラスくず、コン クリートくず及び陶磁器くず の収集運搬	平成 29 年 7 月 19 日	平成 36 年 7 月 18 日
特別管理産業廃棄物 収集運搬業許可番号 鳥取県 03151002312 (優良)	感染性産業廃棄物（限定無） 廃酸（水素イオン濃度指数 2.0 以 下）の収集運搬	平成 28 年 4 月 20 日	平成 35 年 4 月 19 日
特別管理産業廃棄物 収集運搬業許可番号 兵庫県 02854002312	感染性産業廃棄物 （限定無し）の収集運搬	平成 30 年 6 月 7 日	平成 37 年 6 月 6 日
産業廃棄物処分業 許可番号 鳥取県 03121002312 (優良)	廃プラスチック類 中間処理：破碎溶融・破碎 廃プラスチック処理能力：2.9t/日 発泡スチロール減容能力：0.4t/日	平成 28 年 4 月 20 日	平成 35 年 4 月 19 日



(2) 収集運搬車両の種類（合計 3台）

機器名（車種）	性能	台数	特記事項
トラック	3t	2台	箱車
トラック	4t	1台	箱車

(3) 処理工程



9. 代表者による全体評価と見直しの結果

目標未達事項があるものの、一定の成果を上げることができています。その理由として、環境保護活動の見える化（目標値）で、改善意識の高まりがあげられ、成果へ繋がっていると判断しています。

なお、顧客の変化や飲料水容器が鉄缶からアルミ缶及びペットボトルへと変化しており、リサイクル推進の目標値も変化に合わせて見直しし取組みます。しかし、CO<sub>2</sub>排出量の未達原因は、新設設備の稼働と、商圈エリア拡大による電力使用量と軽油使用量の増加によるもので、次年度は目標値の見直しを行い、取り組めます。